



2017年度 東海大学 一般入学試験 1日目

1

ア： $\frac{\sqrt{13+3}}{4}$ イ： $\frac{-1+\sqrt{13}}{6}$ ウ：5952 エ： $\frac{1}{180}$ オ：5 カ： $4\sqrt{2}$ キ： $8\sqrt{2}$

ク： 2^n ケ： $\frac{4^n-1}{(2n+1)!}$ コ： $\frac{\sqrt{51}}{3}$

2

ア： $\frac{24}{25}$ イ： $\frac{729}{1000}$ ウ： $\frac{2}{9}$ エ： $\frac{1}{3}$ オ： $\frac{2}{9}$ カ： $\frac{1}{9}$ キ： $\frac{2}{3}$ ク： $\frac{17}{18}$

3

ア： $\frac{7}{8}$ イ：5 ウ： $\sqrt{6}$ エ： $\frac{12}{5}$ オ： $\frac{8}{5}$ カ： $\frac{3\sqrt{15}}{10}$ キ： $\frac{3}{2}$ ク： $5+\frac{3\sqrt{6}}{2}$ ケ： $\frac{15\sqrt{15}}{32}$



2017年度 東海大学 一般入学試験 1日目

【 講 評 】

例年通り、大問3題での出題であったが、大問1の小問集合の分量が増加した。難易度は例年通りであった。

1	小問集合	難易度： やや易
どれも基本的な問題であったが、数値がきれいに求まらないものや、二項係数・放物線の準線など、受験生がおろそかにしがちなテーマの出題が目立ったため、思うように得点できなかった者も多いだろう。		
2	確率	難易度： 標準
(1)(2)は独立した確率の問題である。前者は余事象を、後者は書き出しと余事象が有効である。ここは確実に得点したい。		
3	図形／無限等比級数	難易度： 標準
前半は三角比・図形の性質に関する問題で、後半は典型的な無限等比級数の図形問題である。初項と公比が求まれば良いので、順次作られる三角形が相似であることに注目して、相似比から公比を求めれば良い。		

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・昭和大・近畿大・日本医科大・大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276